

## アシナガバチ 2種

2014年9月1日

午後、リスに与えるクルミを拾いに近所へ出かける。Kさんが玄関先にいた。

自宅の窓にアシナガバチの巣、そのビデオを見せてもらう。近くに水盤を置くと親バチが幼虫に口移しで与える、また羽ばたいて巣を冷やす行動が面白いと話す。観察力に脱帽する！

早速、実物を拝見する。[14:23:23](#) 全体が黒っぽく少し小型、巣の形が何か違う。調べてみるとコアシナガバチのようだ。体長11~17<sup>ミリ</sup>、名前の通りアシナガバチの中では一番の小型で巣は上に反り返るという、間違いないようだ。[15:17:47](#) ちなみに我が家の方はキアシナガバチ、体長21~26ミリ、大きさは最大級。どちらも攻撃性は強いとある。

次の画面は食事中のリス、キジのホロ打ちもある。植物も大好きで色んな園芸花も撮っていた。

その矢先、リスが目の前のクルミに来た、すぐ生クルミを咥え果肉をかじり見えなくなった。

ここはクルミの木が多くまだ房があちこちある、出現数は比較にならないほど多いのだろう。私も落下した生クルミを数十個手に入れることができた。

[赤字](#)が写真にリンク、写真をクリックすると文章に戻ります。



①



②